

# 運輸区 とうとう 第十九号

## 11.29 運協定期委員会①

分会再々編後、初の運協定期委員会が11月29日（水）11時より地本会議室にて開催されました。当分会も運輸区統合分会として新しいスタートを切り、竜崎分会長の下、各職場からの情報や意見を共有しながら活動を進めているところであります。当分会からは、副議長の小澤康雄さん（津田沼メディア）、運協事務長の飯高聡明さん（蘇我）、車掌分科長の竜崎好暢さん（蘇我）をはじめ、当日の委員として小川一彦さん（鴨川）、他、川口正巳さん（銚子）が参加してきました。座長は、運協副議長の安田正浩さん（小見川駅）が務めました。

### 石井運協議長あいさつ

昨年の大会以降、分会再々編により4分会での開催となった。統括センター化が進んでいる。これは人減らし大合理化の会社側の苦肉の策であり、利用者のサービスを拡大するため、そのしわ寄せを社員に押しつけているものだ。

私たちは、働く仲間を減らされ、苦勞している側だということを再認識し、会社施策に対する要求集約に努めていただきたい。

### 地本加藤委員長あいさつ

2年かけて分会再編成を行い、地本内7分会となった。それぞれの分会が特状を生かしながら集会を開き、職協を通しての要求作りにつながっている。会社の現状、将来の不安から若年層の退職が増えている。これらは当人の自己解決による判断であるが、我々が労働組合として、若い労働者の思いや悩みの受け皿になれるかが大切である。組織人員は 名、組織拡大は急務であるが、労働



運動をどうしたら職場に残していけるのが課題である。

### 取り組み経過報告

2022年度の運協関係の団体交渉（12件）の報告、役員会議、関係会議、各種行動についての報告がありました。

### 取り組みの経過・総括

（詳細については、今後の運協ニュースを参照して下さい）

車掌関係としては、各職場の行路内のその他時間の取り扱いについてや、鴨川運輸区の予備改札行路の「柔軟な出退勤箇所行路」、「トライアル」での指示業務の内容について、乗務員による車椅子対応、京葉運輸区新設に伴う輸送混乱時における東京駅での業務指示関係、乗務員が携帯する汚物凝固剤の取り扱い、車掌も関係する駅窓口の閉鎖、柔軟な働き方施策等々についての報告がありました。

### 今後の取り組みについて

駅職場、車掌職場の労働条件改善の取り組み、教宣活動、

調査活動についての提起があり、経過報告や会計報告も含めて、全体討論となりました。

## 調査なくして 要求なし!

